

公益財団法人平塚市まちづくり財団臨時第1回評議員会議事録概要

平成26年8月29日午前10時、教育会館3階大会議室において、臨時第1回評議員会を開催した。

出席評議員 5人（評議員総数8人）

大川五郎、西山滋恩、高岡捷二、平野恵美子、福澤正人

出席理事 伊藤裕、安達信行

定刻になったので司会者総務施設課長川村潔は開会を宣し、本日の評議員会は評議員8人中5人及び理事2人の出席を得ているので有効に成立した旨告げ、評議員会運営規程第8条第1項により評議員会会長が議長となり議案の審議にはいった。

議長は、本日の議題は、「議案第2号平成26年度公益財団法人平塚市まちづくり財団資金収支補正予算（第1号）及び資金調達及び設備投資の見込みについて」、「議案第3号公益法人変更認定申請」及び「その他」の3案件等である旨を告げ、審議にはいった。

議案第2号平成26年度公益財団法人平塚市まちづくり財団資金収支補正

予算（第1号）及び資金調達及び設備投資の見込みについて

議長は、議案第2号平成26年度公益財団法人平塚市まちづくり財団資金収支補正予算（第1号）及び資金調達及び設備投資の見込みについて、理事長に説明を求めた。理事長は、補正理由を（仮称）八重咲町第2自転車駐車場整備のため等とし、また、当該整備費用は借入で対応するので、資金調達及び設備投資の見込みを補正する必要がある等の理由を説明し、議案第2号及び別紙平成26年度公益財団法人平塚市まちづくり財団資金収支補正予算（第1号）及び資金調達及び設備投資の見込みにより内容を説明した。出席評議員から利用料金についてと駐輪場の出入口が東側1箇所としている理由についての質問が出され、理事長は、利用料金については、現在、平塚市と協議中であるが、2時間は無料で2時間を超えたときは隣接の駐輪場の一時利用料金と同額を予定

していること、また、整備する駐輪場は、平塚駅南口の放置自転車対策として整備を行うことから、その放置自転車の場所に近い東側 1 箇所には出入口を設けることとした旨を説明した。出席評議員からその駐輪場利用者の利便性を考えると出入口は東西 2 箇所が必要と思うので、今後、整備後の利用状況を見て、西側に出入口を設けてほしい旨の意見が出された。理事長は、整備後に利用状況等を踏まえ、必要なら出入口の増設を検討する旨を説明した。議長が諮ったところ、出席評議員全員一致をもって原案を可決決定した。

議案第 3 号公益法人変更認定申請

議長は、議案第 3 号公益法人変更認定申請について理事長に説明を求めた。理事長は、その理由として自転車振興事業として実施している自転車交通安全と自転車マナー等の普及啓発事業を拡充し、新たに自転車乗車用ヘルメット購入助成事業を実施するため、自転車振興事業が公益目的事業として行っていることから、公益法人変更認定申請が必要となる旨を説明するとともに、変更認定申請の内容について議案第 3 号により説明した。出席評議員から自転車乗車用ヘルメット購入助成事業は、ニーズが高いと思われるので、助成希望が予算を超えた場合の対応についての質問が出され、理事長は、当初予算で措置している金額を超えた場合は予備費の充当で対応し、助成要望に答える旨を説明した。議長が諮ったところ、行政庁の審査の過程において必要となった際の字句修正や加筆及び申請書別紙の記載内容、添付資料等の事務手続きを理事長に一任することとし、出席評議員全員一致をもって原案を可決決定した。

その他

議長は、その他として評議員から意見等を求めた。出席評議員から宝町駐輪場の契約状況について質問が出され、理事長は宝町駐輪場の契約率は 100% である旨を説明した。また、出席評議員から中心商店街の買物客用駐輪対策について、まちづくり事業として自転車振興事業や駐輪場の管理運営を行っている財団として、中心商店街の賑わいへの寄与や買物客が中心商店街を利用し易くするという視点から買物客の自転車駐輪対

策を積極的に平塚市など関係機関に働きかけてほしい旨の意見が出され、理事長は、買物客の自転車駐輪対策については、これまで財団も参加して平塚市や中心商店街、警察署等関係機関と協議をしているが、方向性が決まっていない現状なので、引き続き、財団として意見を出して行く旨を説明した。

以上をもって議案の審議を終了したので、議長は閉会を宣し11時閉会した。